

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2000-89693
(P2000-89693A)

(43) 公開日 平成12年3月31日 (2000.3.31)

(51) IntCl. ⁷	識別記号	FI	キーワード (参考)
G09F 9/33		G09F 9/33	R 5C094
H01L 33/00		H01L 33/00	N

審査請求 有 請求項の数12 OL (全7頁)

(21) 出願番号 特願平10-253720

(22) 出願日 平成10年9月8日 (1998.9.8)

(71) 出願人 000004237

日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目7番1号

(72) 発明者 近藤 祐司

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

(72) 発明者 池津 勇一

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

(74) 代理人 100070219

弁理士 若林 忠 (外4名)

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 フラットパネルディスプレイ

(57) 【要約】

【課題】 微細化された発光素子を狭いピッチで配置しても、ガラスパネルの厚さを薄くせずには他の発光素子からの光の影響を少なくできるフラットパネルディスプレイを提供する。

【解決手段】 フラットパネルディスプレイ10は、一定の厚さを持つガラスパネル11上のA面11aに、一定間隔でマトリクス状に発光素子12が形成されており、ガラスパネル11の発光素子形成面であるA面11aとは反対側の表示面であるB面11bから、A面11aの隣接する発光素子12間の間隙に向けて、隣接する発光素子12間の間隙と同じ幅もしくは、間隙より狭い幅にて、一定の深さの溝13が形成されており、溝13の深さは、発光素子11からの発光光が、その発光素子11の領域以外の表示面であるB面11bに透過しないような光路を形成するように調整される。

